

ご挨拶

学校法人永原学園西九州大学短期大学部は、本年度創立 60 周年並びに健康福祉・生涯学習センター設立 30 周年を迎える節目に立つことができました。永原学園は、創設者である永原マツヨ初代理事長によって昭和 21 年に「佐賀栄養専門学院」として設立されました。戦後の食糧難のなかで「食生活の改善」を目指して、「世界文化の向上と人類福祉に寄与する人物の養成」という建学の精神のもとで、「食と栄養」の専門教育がスタートいたしました。

創設者は佐賀県に未だない教育分野の開拓として短期大学設置を熱望し、昭和 31 年文部省の門をくぐりましたが、「今、思ってもお恥ずかしいくらいの幼稚さであった。大学の実現の困難なこと、私学人のぶつかる壁の厚さ、昇る階段の高さ、打ちのめされ、打ちひしがれる計画……想像以上に困憊しました」と記しています。最初の文部省訪問から 7 年の歳月を要して昭和 38 年 4 月にめでたく佐賀短期大学食物栄養科が佐賀市多布施に開学されました。永原マツヨは「学園は、私の生命。魂を吹き消しそうな嵐のときもありましたが、教育者の歓びが、この道一筋を貫いて、無我夢中で、歳月の推移を迎えた」と述べています。

爾来、被服科(後に家政科→生活福祉学科)、保育科(後に幼児教育科→幼児教育学科→幼児保育学科)を相次いで増設し、一時、入学者数は400名を超えるようになりました。昭和63年には介護福祉士養成施設にも指定されました。しかし、平成になり18歳人口がピークアウトするにつれ、時代は4年制大学への流れと変わっていきました。本学もそれに合わせて、入学定員を徐々に減じて西九州大学に新たな学部・学科を増設することに注力しました。そして、平成 21 年 4 月には、西九州大学短期大学部と名称を変更し、新たな時代の地域社会において「健康と福祉を担う核となる人材の育成校」として現在に至っています。

これまで60年間、数多くの地域の方々や卒業生の皆様に支えられて今日の日を迎えることができました。心より深甚なる感謝を申し上げます。

西九州大学・西九州大学短期大学部は平成25年に「地域大学宣言」を行い、「地域に拓かれた、地域と共に学ぶ大学」になることを改めて目指すことにしました。その端緒は、創設者の生涯学習への溢れ出る情熱であり、その結実となった平成6年3月の佐賀短期大学「健康福祉・生涯学習センター」の開設です。既に30年の時が流れました。コロナ禍を含めこの間、紆余曲折がありましたが、3500名近くの方々がエルダーカレッジや生きがいつくり教室を卒業或いは利用されました。昨年からは、さんこう児童クラブ(放課後児童クラブ)をセンター内で開設しています。エルダー卒業生の皆様の熱い想いや地域の方々からの暖かい応援に改めて感謝いたします。

結びに、創立 60 周年を迎える今、私たちは多くの方々への感謝と歴史ある本学の伝統への誇りを胸に更なる成長と発展を目指してまいります。これからも本学への暖かいご支援やご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

令和5年10月

西九州大学短期大学部 理事長・学長 福元 裕二

